

Luxman

NETWORK TRANSPORT

NT-07

Owner's Manual

このたびは、ラックスマンのネットワークトランスポート NT-07 をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。

NHK がラジオの本放送を開始した 1925 年、錦水堂ラジオ部として創業されたラックスマンは、90 余年にわたって数多くの製品をオーディオファンや音楽ファンに届けてまいりました。その間、いつの時代にあってもオーディオと音楽を愛する人たちの熱い心は変わりませんでした。

音楽に込められたアーティストの情念を余さず忠実に再現する、そのときの感動の深さと機器への愛着の深さこそがオーディオにとっての最高の価値であると私たちは考えます。

縁あってラックスマン製品をお選びいただきましたことは、オーディオと音楽に対して私たちと同じ情熱と価値観を共有できることであると、心から嬉しく思っております。

本機を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこのオーナーズマニュアルをよくお読みください。それによって本機の性能が十分に発揮され、最高のグレードで音楽再生をお楽しみいただくことができます。お読みになった後は保証書、安全上のご注意と共に大切に保管してください。

末永くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

目次

使用上の注意	1
本機の特徴	2
お使いの前に	3
各部の名称と用途	6
接続方法	11
操作方法	14
設定方法	15
ブロックダイアグラム	19
規格	20
修理に出される前に	21
アフターサービスと品質保証について	22

設置する場所

- ・ 組み合わせて使用する機器のそばの安定した場所を選んでください。
- ・ テレビやカラーモニターの近くに本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- ・ 直射日光のあたる所
- ・ 湿気の多い所や風通しの悪い所
- ・ 極端に暑い所や寒い所
- ・ 振動のある所
- ・ ホコリの多い所
- ・ 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上に載せないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ離して入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

電源オン後すぐには音が出ません。

本機は電源オン後、動作準備が完了するまでおよそ30秒程度かかります。その後、専用のアプリ、または付属のリモコンの操作により再生が可能となります。

光デジタルケーブル取り扱い上のご注意

- ・ 急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。
- ・ 接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。
- ・ 長さは3m以下のものを使用してください。
- ・ プラグにほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。

製品のお手入れについて

- ・ 本体は通常、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞りと、汚れを拭きとった後乾いた布で拭いてください。
- ・ アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- ・ 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- ・ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

修理・調整について

修理、調整などが必要なときは、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービスセンターへご依頼ください。

安全上のご注意



本機は重いので、開梱や持ち運び、設置の際は充分にご注意ください。

ステレオ音のエチケット



- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
- 窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。

本機の特徴

ネットワークトランスポート機能

お持ちの D/A コンバーター（USB、または同軸、光デジタル入力を搭載した製品）と接続することで、多彩なネットワークオーディオの世界をシンプル・かんたんに楽しめる先進のネットワークトランスポート機能

音楽ストリーミングサービス対応

高音質の音楽ストリーミングサービス（Qobuz、TIDAL、Spotify、TuneIn）の再生に対応。

※各音楽ストリーミングを再生するには、個別にユーザー登録、または有料の契約が必要になります。

※ Qobuz、TIDAL は、2023 年 7 月現在、日本でサービスを開始していないため、日本国内から新規に契約することができません。

ハイレゾ音源対応

デジタル音声出力は、USB、同軸、光の 3 系統を用意。USB 出力は最大 768kHz の PCM と最大 22.5MHz の DSD 信号に対応。同軸と光出力は、最大 192kHz の PCM 信号に対応。

HDMI 入出力端子

Blu-ray プレーヤーやゲーム機など、さまざまな映像ソースのデジタル音声信号を入力可能な HDMI 入力と、接続した TV の音声も再生可能な ARC 対応 HDMI 出力端子を装備。

専用アプリ「LUXMAN Stream」

洗練された操作性を実現する本機専用のコントロールアプリ「LUXMAN Stream」により、音源の選曲やプレイリストの作成、また、本機のさまざまな設定が可能。

※「LUXMAN Stream」はお使いのスマートフォン、またはタブレットの OS（iOS と Android に対応）に合わせてダウンロードしてご使用ください。

最新世代の高速プロセッサー

本機の豊富な機能をスムーズに処理する最新世代の高速プロセッサー・モジュールを搭載。

ハイイナーシャ電源回路

音質を最優先した大型電源トランスと 10,000 μ F \times 2 本の大容量ブロックコンデンサーで構成されたハイイナーシャ（高慣性）電源回路。

薄型の筐体設計

既存のオーディオシステムに組み込みやすいシンプルな外観を採用した薄型の筐体デザイン。

多機能リモコン

本機の主要な操作だけでなく、ラックスマン製 CD/SACD プレーヤーの再生操作やプリメインアンプ/コントロールアンプの音量操作も可能なアルミ製リモコン。

高精細の有機 EL ディスプレイ

再生中の音楽の曲名やアーティスト名、経過時間やフォーマットなどを見やすく表示する高精細の大型有機 EL ディスプレイ。

コントロール端子

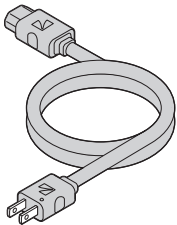
対応するラックスマン製品どうしのリモコン操作を連動するコントロール入出力端子。

-
- ・ Mac、Mac OS は、米国 Apple Inc. の登録商標または商標です。
 - ・ Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - ・ DSD は登録商標です。
 - ・ Sound Wave Logo is a registered trade mark of MQA Limited. © 2018
 - ・ MQA is a registered trade mark of MQA Limited. © 2018
 - ・ Being Room Ready means that LUXMAN uses Room streaming technology, for an incredible user interface, simple setup, rock-solid daily reliability, and the highest levels of audio performance, without compromise.
 - ・ Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
 - ・ その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。
-

付属品の確認

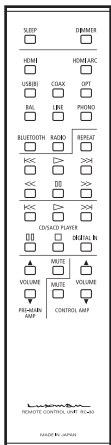
箱から出したら次の付属品がそろっていることを確認してください。

- 電源ケーブル (JPA-10000i)

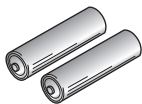


※付属の電源ケーブルは本機専用です。他の機器には使用しないでください。

- リモートコントロールユニット (RC-30)



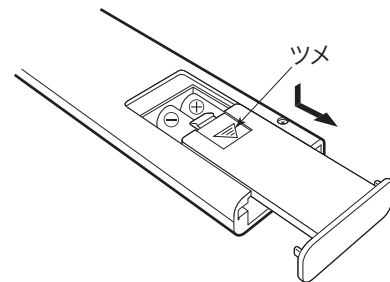
- 単4形乾電池 (2本)



- 保証書
- プレミアム延長保証登録申請書
- 安全上のご注意
- 取扱説明書 (本書)

リモコンの準備

- リモコンの裏面にあるバッテリー・カバーをはずしてください。
バッテリー・カバーのツメに指を乗せて軽く押し、バッテリー・カバーを下にスライドして抜いてください。
- バッテリー・ケースの中の図と同じように電池の⊕⊖を合せて単4乾電池を入れます。
- バッテリー・カバーをはずしたときと逆に、下の方からバッテリー・カバーのツメ側をあてがいスライドしてパチッと音がするまで押し込んでください。

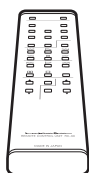
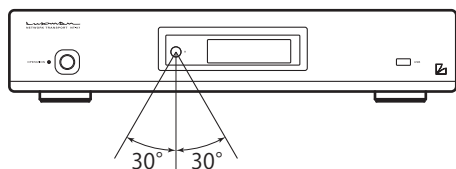


-
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 長い間 (1 ヶ月以上) リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。
 - 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示 (条例) に従って処理してください。
-

お使いの前に

リモコンの使用範囲

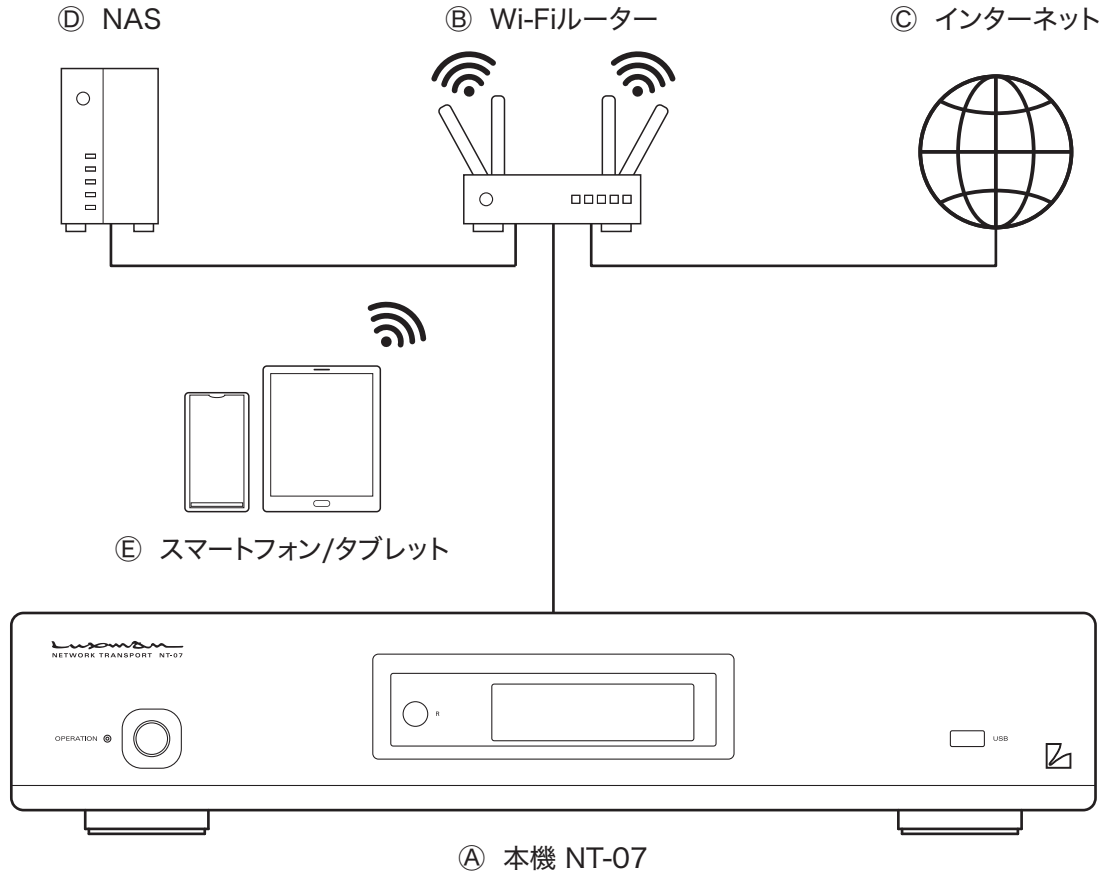
リモコンは本機前面部のリモコン受光部に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は約5m、またリモコン受光部を基準にして左右30°までの範囲で操作できます。



有効距離 約5m

リモコン受光部に直接日光や強い光を当てないようにしてください。誤動作の原因となります。

ネットワーク環境の準備と確認



① 本機 NT-07

後面のネットワーク端子 (NETWORK) に LAN ケーブルを接続します。

② Wi-Fi ルーター

有線 LAN 端子から LAN ケーブルで本機と接続します。無線電波 (Wi-Fi) で専用アプリ「LUXMAN Stream」をインストールしたスマートフォン/タブレットと接続します。

本機に IP アドレスを割り振るため、Wi-Fi ルーターの DHCP サーバー機能を有効にしてください。

③ インターネット

スマートフォン/タブレットへの専用アプリ「LUXMAN Stream」のインストールや、音楽ストリーミングサービスでの再生、本機のファームウェア・アップデートなどに、インターネット回線が必要になります。

④ NAS (Network Attached Storage)

大量の音楽ファイルを保存・管理するために、音楽サーバー (UPnP 対応のメディアサーバー) を接続することができます。

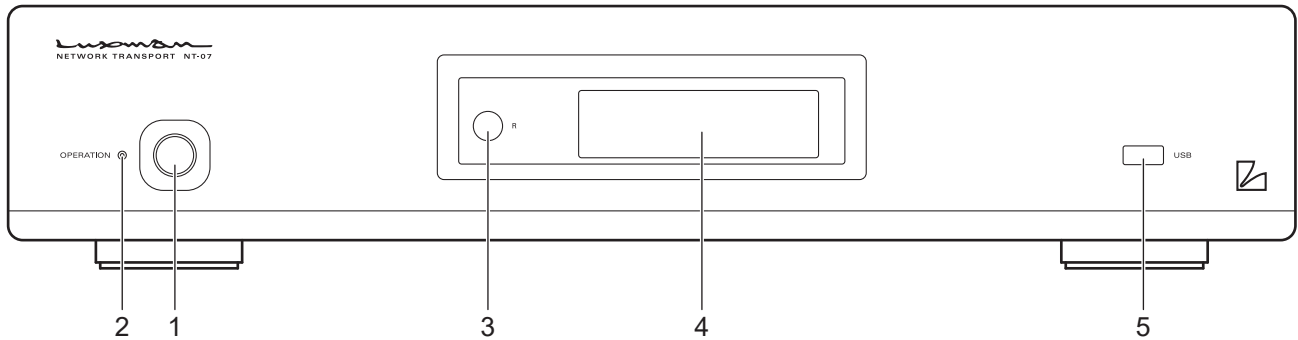
本機では UPnP 準拠の MinimServer の使用を推奨しています。

⑤ スマートフォン/タブレット

専用アプリ「LUXMAN Stream」をインストールして、本機の操作や設定をします。

各部の名称と用途

本体正面



1. オペレーション・スイッチ (OPERATION)

電源をオン/オフするスイッチです。
配線、接続時には必ずこのスイッチをオフにしてください。

2. オペレーション・インジケータ (OPERATION)

オペレーション・スイッチをオンにすると、ウォーミングアップ中は青色に点滅し、その後動作状態になると点灯します。
スタンバイ動作時は橙色に点灯します。

3. リモコン受光部 (R)

付属のリモコンからの信号を受信するためのセンサーです。

4. ディスプレイ

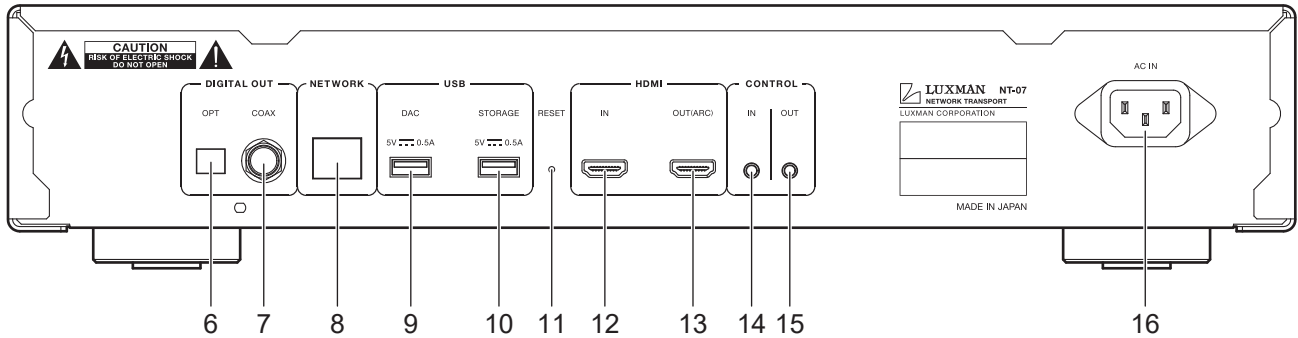
再生中の音楽の曲名やアーティスト名、経過時間やフォーマットをはじめ、本機の動作状況を表示します。

5. USB 端子 (USB)

音楽データを保存した USB ストレージ (USB メモリーや USB ハードディスクなど) を接続します。
この端子は後面の USB 端子 (STORAGE) との排他的使用になります。後面の USB 端子に USB ストレージが挿入されているとき、この端子は動作しません。
USB ストレージは、以下のフォーマットに対応しています。
シングルパーティションの FAT32、exFAT、NTFS

この端子の供給電流は、最大 500mA です。後面の端子 (STORAGE) に USB ストレージが挿入されているときは、2つの端子の合計で最大 500mA となります。

本体後面



6. 光デジタル出力端子 (OPT)

光デジタル入力端子を搭載した D/A コンバーターやアンプなどと光デジタルケーブルを使用して接続します。この端子は以下の PCM フォーマットに対応していません。

チャンネル : 2ch (ステレオ)
 サンプル周波数 : 44.1kHz、48kHz、88.2kHz、
 96kHz、176.4kHz、192kHz
 量子化ビット数 : 16bit、24bit

本端子はシャッター式です。接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと端子が変形し、ケーブルを抜いてもシャッターが閉まらなくなることがあります。

7. 同軸デジタル出力端子 (COAX)

同軸デジタル入力端子を搭載した D/A コンバーターやアンプなどと同軸デジタルケーブルを使用して接続します。

この端子は以下の PCM フォーマットに対応していません。

チャンネル : 2ch (ステレオ)
 サンプル周波数 : 44.1kHz、48kHz、88.2kHz、
 96kHz、176.4kHz、192kHz
 量子化ビット数 : 16bit、24bit

8. ネットワーク端子 (NETWORK)

1000BASE-T の ETHERNET に対応したネットワーク端子です。LAN ケーブルを使って家庭内のネットワークに接続します。

LAN ケーブルは Cat6 (カテゴリー 6) 以上のタイプを使用してください。

9. USB 端子 (DAC)

USB 入力端子を搭載した D/A コンバーターや D/A コンバーター機能付きの CD/SACD プレーヤーなどと USB オーディオケーブルを使用して接続します。

この端子は以下のデジタルフォーマットに対応していません。

- PCM
 - チャンネル : 2ch (ステレオ)
 - サンプル周波数 : 44.1kHz、48kHz、88.2kHz、
96kHz、176.4kHz、192kHz、
352.8kHz、384kHz、
705.6kHz、768kHz
 - 量子化ビット数 : 16bit、24bit、32bit
- DSD
 - チャンネル : 2ch (ステレオ)
 - サンプル周波数 : 2.8MHz、5.6MHz、
11.2MHz、22.5MHz
 - 量子化ビット数 : 1bit

本機は 32bit Float の PCM 信号には対応していません。

各部の名称と用途

10. USB 端子 (STORAGE)

音楽データを保存した USB ストレージを (USB メモリーや USB ハードディスクなど) 接続します。

この端子は前面の USB 端子との排他的使用になります。前面の USB 端子に USB ストレージが挿入されているとき、この端子は動作しません。

USB ドライブは、以下のフォーマットに対応していません。

シングルパーティションの FAT32、exFAT、NTFS

この端子の供給電流は、最大 500mA です。前面の端子に USB ドライブが挿入されているときは、2つの端子の合計で最大 500mA となります。

11. リセットスイッチ (RESET)

本機の設定を工場出荷状態に戻すスイッチです。

リセットするときは、電源がオフの状態から、ボールペンの先などでスイッチを軽く押し続けながら、前面のオペレーション・スイッチ (OPERATION) を押し、ディスプレイに「Luxman」のロゴが表示されたら離してください。

12. HDMI 入力端子 (HDMI IN)

HDMI 出力端子を搭載した映像機器と HDMI ケーブルを使用して接続します。

この端子は以下の PCM フォーマットに対応していません。

(映像信号は、HDMI 出力端子 (HDMI OUT (ARC)) にパススルー出力されます。)

チャンネル : 2ch (ステレオ)

サンプリング周波数 : 44.1kHz、48kHz、88.2kHz、
96kHz、176.4kHz、192kHz

量子化ビット数 : 16bit、24bit

HDMI ケーブルは、HDMI OUT に接続する TV/ ディスプレイの解像度に対応したものを使用してください。

13. HDMI 出力端子 (HDMI OUT (ARC))

HDMI 入力端子を搭載した TV/ ディスプレイと HDMI ケーブルを使用して接続します。

本機の HDMI 出力端子を使用した ARC 入力機能を使用する場合は、ARC 対応の HDMI 入力端子を搭載した TV/ ディスプレイと接続してください。

この端子は以下の PCM フォーマットに対応していません。

チャンネル : 2ch (ステレオ)

サンプリング周波数 : 44.1kHz、48kHz、88.2kHz、
96kHz、176.4kHz、192kHz

量子化ビット数 : 16bit、24bit

HDMI ケーブルは、TV/ ディスプレイの解像度に対応したものを使用してください。

14. コントロール入力端子 (CONTROL IN)

コントロール出力端子を搭載したラックスマン製機器と市販の 3.5mm ミニプラグ・モノラルケーブルを使用して接続します。

このとき他機の受光部で本機のリモコンを受光し、操作することができます。

(コントロール入力端子にケーブルが接続されているとき、本機の受光部は機能しません。)

15. コントロール出力端子 (CONTROL OUT)

コントロール入力端子を搭載したラックスマン製機器と市販の 3.5mm ミニプラグ・モノラルケーブルを使用して接続します。

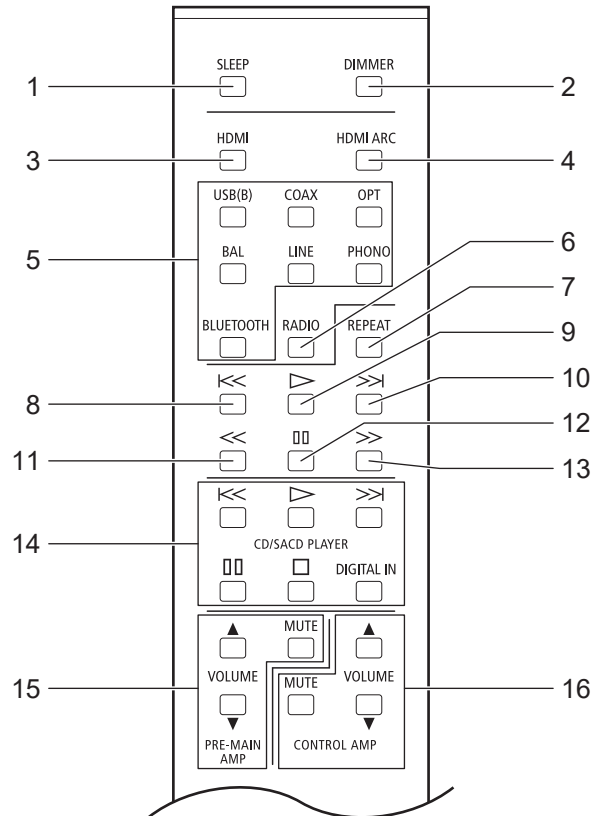
このとき本機の受光部で他機のリモコンを受光し、操作することができます。

(コントロール入力端子にケーブルを接続した他機の受光部は機能しません。)

16. AC インレット (AC IN)

付属の電源ケーブルを接続して、壁のコンセントから電源を供給します。

リモコン



1. スリープ・ボタン (SLEEP)

本機を、消費電力を抑えたスタンバイ状態に切り替えるボタンです。

もう一度このボタンを押すと通常動作状態に切り替えることができます。

スタンバイ時、オペレーション・インジケータ (OPERATION) は橙色に点灯します。

2. ディマー・ボタン (DIMMER)

ディスプレイの明るさを調節するボタンです。

明るい状態から消灯までの明るさを4段階に切り替えることができます。

このボタンを押すたびに、通常→やや暗い→消灯→明るい→通常 (に戻る) を繰り返します。

工場出荷時は、通常の明るさに設定されています。

3. HDMI 入力ボタン (HDMI)

後面の HDMI 入力端子 (HDMI IN) に接続した映像機器のデジタル音声を選択するボタンです。

4. HDMI ARC 入力ボタン (HDMI ARC)

後面の HDMI 出力端子 (HDMI OUT (ARC)) に接続した TV/ ディスプレイのデジタル音声を選択するボタンです。

5. (本機では使用しません)

これらの入力選択ボタンは本機では使用しません

6. インターネットラジオ・ボタン (RADIO)

あらかじめ設定されたインターネットラジオを選択するボタンです。

本機のラジオ機能を使用するにはインターネットラジオサービス TuneIn へのユーザー登録が必要です。

7. リピート・ボタン (REPEAT)

プレイリスト*に登録された曲を繰り返し再生するボタンです。

各部の名称と用途

8. プレビース・ボタン (◀◀)

現在再生中の曲の先頭に戻すボタンです。
再生中の曲が先頭から 5 秒以内の場合、このボタンを押すとプレイリスト*の前の曲の頭から再生を開始します。

9. プレイ・ボタン (▷)

プレイリスト*に登録された曲を再生するボタンです。

10. ネクスト・ボタン (▶▶)

プレイリスト*の次の曲を再生するボタンです。

11. 早戻しボタン (◀◀)

再生中の曲を、およそ 10 秒戻すボタンです。

12. ポーズ・ボタン (⏸)

再生中の曲を一時停止するボタンです。
もう一度押すと再生を再開します。

13. 早送りボタン (▶▶)

再生中の曲を、およそ 10 秒進めるボタンです。

7～13 のボタンは、プレイリストに登録された曲を再生操作するときに使用します。

14. (CD/SACD プレーヤー製品操作ボタン)

ラックスマン製 CD/SACD プレーヤーの主要な操作が可能なボタンです。

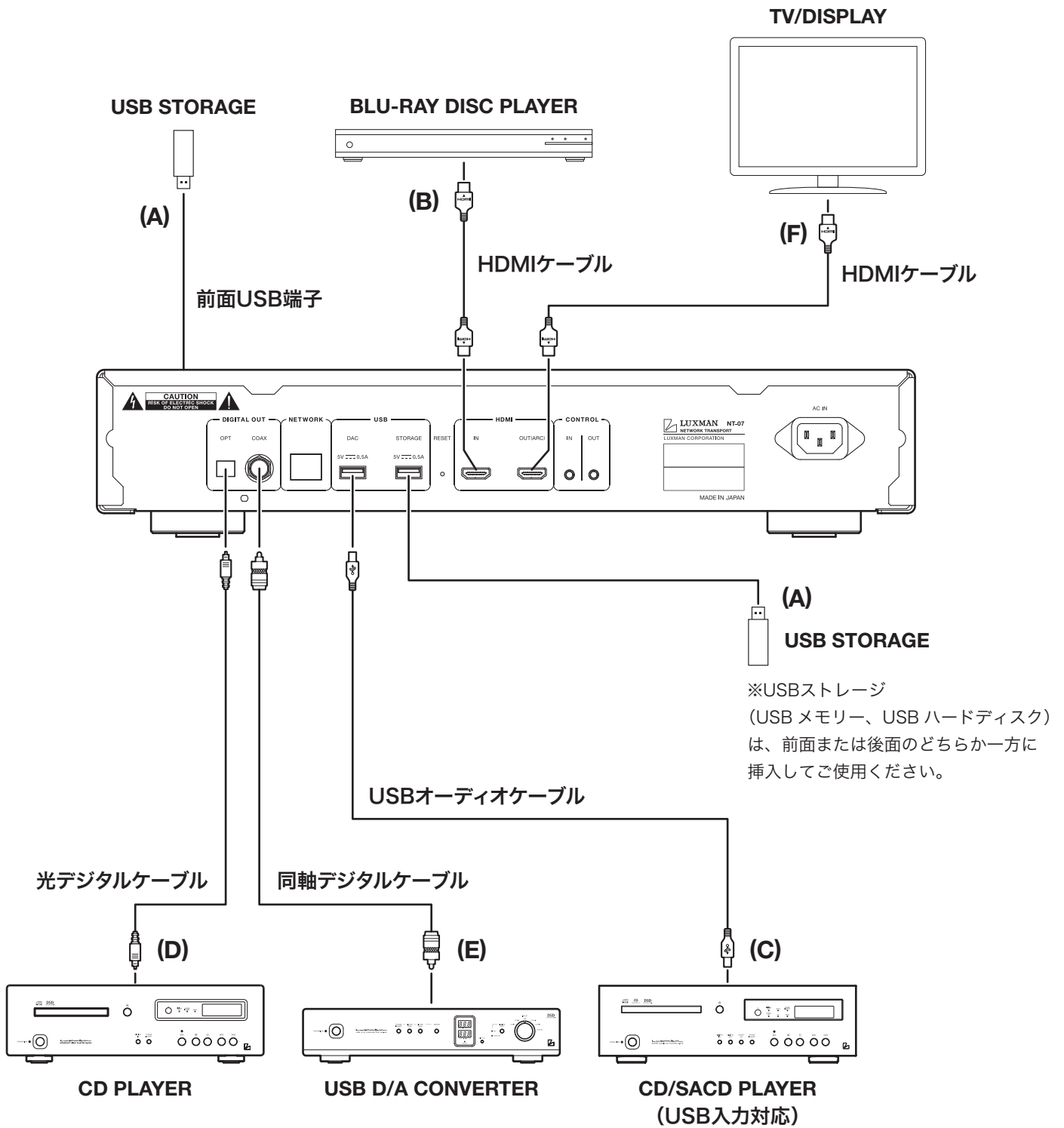
15. (プリメインアンプ製品操作ボタン)

ラックスマン製プリメインアンプの音量操作が可能なボタンです。

16. (コントロールアンプ製品操作ボタン)

ラックスマン製コントロールアンプの音量操作が可能なボタンです。

プレイリストを作成・再生するためには、あらかじめ専用アプリ「LUXMAN Stream」での設定が必要です。詳しくは、専用アプリ「LUXMAN Stream」操作マニュアルをご覧ください。



接続方法

接続する前に

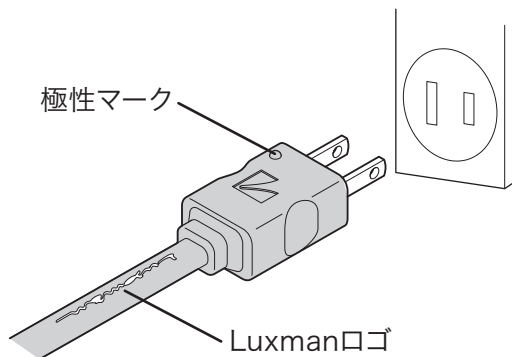
他の機器を接続する前に、付属の電源ケーブルのジャック部（穴が3つある方）を本機の AC インレットに接続してください。

接続するときは、思わぬノイズの発生による事故を防止するため、本機の電源と併用機器の電源をすべてオフにしてください。

電源の接続

付属の電源ケーブルを使用し、AC プラグをリスニングルームなどにある AC100V のコンセントに差し込んでください。プラグにある極性マークがコンセントに向かって左側になるように（ケーブルの Luxman ロゴが見えるように）AC プラグを差し込むと、電源極性が正しく設定されます。

一般的に AC コンセントは、向かって左側の若干長い穴が接地用端子（W 表記）になっています。



ネットワークの接続

P.5 の「ネットワーク環境の準備と確認」で用意した Wi-Fi ルーターと本機のネットワーク端子（NETWORK）を、LAN ケーブルを使用して接続してください。

LAN ケーブルは Cat6（カテゴリ 6）以上のタイプを使用してください。

入力機器の接続

1. USB ストレージの接続 (接続図 (A) を参照)

USB ストレージを音源として使用する場合は、前面、または後面の USB 端子（USB、STORAGE）に USB メモリー、または USB ハードディスクなどを挿入してください。

USB 端子は前面、または後面との排他的使用になります。どちらか一方の USB 端子に USB ストレージが挿入されているとき、他方の端子は動作しません。

2. Blu-ray プレーヤーなどからのデジタル入力 (接続図 (B) を参照)

映像機器の音声を入力する場合は、Blu-ray プレーヤーなどの HDMI 出力端子から、本機の HDMI 入力端子（HDMI IN）に HDMI ケーブルを使用して接続してください。

HDMI 入力端子（HDMI IN）に接続した機器の音声を再生するときは、リモコンの HDMI 入力ボタン（HDMI）を押してください。

出力機器の接続

1. USB D/A コンバーターなどへのデジタル出力 (接続図 (C) を参照)

本機の USB 端子 (DAC) (USB タイプ A) から、USB 端子 (USB タイプ B) を搭載した USB D/A コンバーターなどに USB オーディオケーブルを使用して接続してください。

2. 他の D/A コンバーターなどへのデジタル出力 (接続図 (D)、(E) を参照)

本機の光デジタル出力端子 (OPT) から、光デジタル入力端子を搭載した機器へ光デジタルケーブルを使用して接続してください。

本機と同軸デジタル出力端子 (COAX) から、同軸デジタル入力端子を搭載した機器へ同軸デジタルケーブルを使用して接続してください。

本機のデジタル出力は、USB (DAC) か光 (OPT) / 同軸 (COAX) のいずれか一方を専用アプリ「LUXMAN Stream」で選択して出力する切り替え式です。

“USB” を選択すると USB (DAC) から出力され、光 (OPT) と同軸 (COAX) からは出力されません。” SPDIF” を選択すると光 (OPT) と同軸 (COAX) の両端子から出力され、USB (DAC) からは出力されません。

3. TV/ ディスプレイの接続 (接続図 (F) を参照)

HDMI 入力端子 (HDMI IN) に入力した映像信号を HDMI 出力端子 (HDMI OUT (ARC)) からパススルー出力し、TV/ ディスプレイの HDMI 入力端子に HDMI ケーブルを使用して接続します。

リモコンの HDMI ARC ボタンを押すと HDMI ARC に対応した TV/ ディスプレイのデジタル音声信号を、本機に入力することができます。

本機の HDMI 端子 (HDMI IN と HDMI OUT (ARC)) は以下の PCM フォーマットに対応しています。

チャンネル : 2ch (ステレオ)
サンプリング周波数 : 44.1kHz、48kHz、88.2kHz、
96kHz、176.4kHz、192kHz
量子化ビット数 : 16bit、24bit

ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。大きなノイズが発生する場合があります。

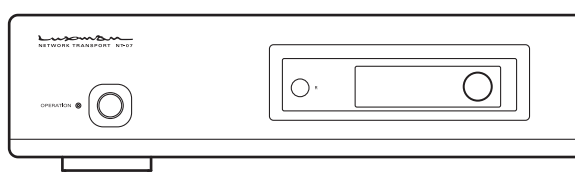
Blu-ray プレーヤーや TV を接続する場合は、音声出力を「PCM 2 チャンネル」に設定してください。

本機は、複数の HDMI 機器を連動する HDMI コントロール機能 (HDMI CEC) を持っていません。

操作方法

操作する前に

1. 接続が確実に行われているか確認してください。
2. 使用するアンプの音量が最小になっていることを確認してから、オペレーション・スイッチ (OPERATION) を押して電源をオンにします。
3. 電源オン後、約 30 秒で本機が起動します。
正常に起動すると、本体ディスプレイは、以下のように表示されます。



本機がネットワークに正常に接続されていない場合、本体ディスプレイには「Please check network connection」と表示されます。

本機の起動後は、アプリを使用して再生操作を行なってください。

専用アプリ「LUXMAN Stream」の使用方法

本機は、OpenHome に対応したネットワークトランスポート製品です。

スマートフォン / タブレット用の専用アプリ「LUXMAN Stream」(無償) をインストールすることで、入力ソースの設定や選曲、再生など本機のすべての操作が可能となります。

アプリでの設定後は、音楽再生に関する主な操作は付属のリモコンでも可能です。

使用するスマートフォン / タブレットの OS に合わせて、App Store ストア、または Google Play にて、「LUXMAN Stream」で検索してダウンロードしてください。

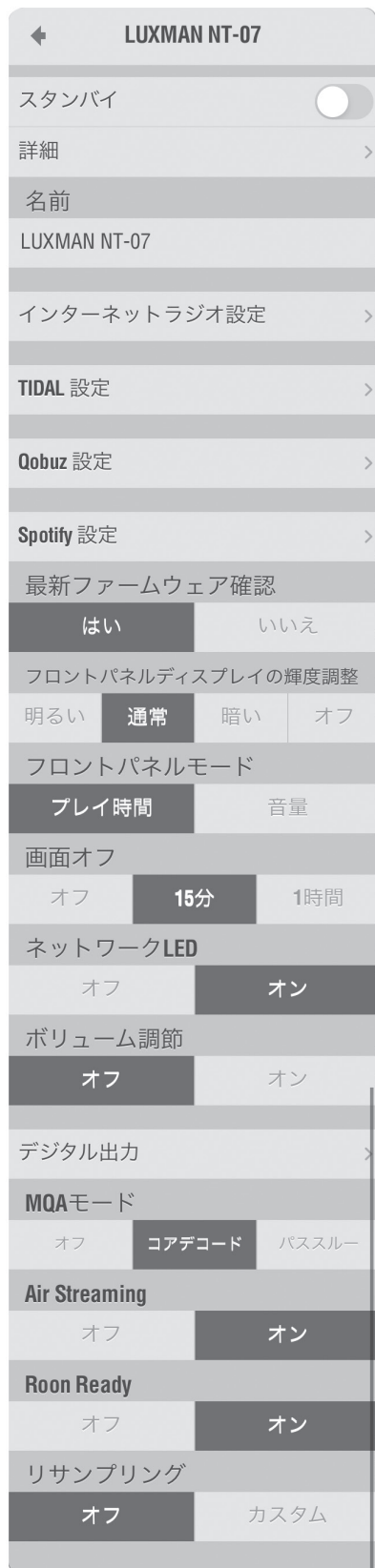
「LUXMAN Stream」の使用方法は、下記の URL から、「LUXMAN Stream 操作マニュアル」の pdf をダウンロードしてご覧ください。

<https://www.luxman.co.jp/product/luxmanstream/>



※本機を使用した音楽再生など、一部の操作機能は他の OpenHome 対応アプリでも可能です。

専用アプリ「LUXMAN Stream」を使用すると、本機の設定やカスタマイズが可能となります。必要に応じて各設定項目をタップし、設定内容を変更してください。



スタンバイ

本機を、消費電力を抑えたスタンバイ状態に切り替えます。

リモコンのスリープ・ボタン (SLEEP) と同じ動作です。スタンバイ時、本体正面のオペレーション・インジケータ (OPERATION) は橙色に点灯します。

詳細

本機のファームウェアのバージョンや、ネットワーク IP アドレスなど、さまざまな情報を表示します。

名前

ネットワーク上に表示される本機の名前を変更することができます。

複数の本機を同一ネットワーク上で動作させる場合など、それぞれを区別しやすいように名前を変更することができます。

インターネットラジオ設定

インターネットラジオサービス「TuneIn」を再生するとき、ユーザー名を入力します。

TuneIn の利用には、あらかじめユーザー登録が必要です。TuneIn のホームページ (<https://tunein.com/>) にて、サービスに登録の上、本機で聴きたいラジオ局やポッドキャストなどを選んで、ライブラリに登録すると、それらの局が本機で選択・再生可能となります。

※ 2023 年 7 月現在、TuneIn は無料のサービスです。

TIDAL 設定

音楽ストリーミングサービス「TIDAL」を再生するとき、ユーザー名とパスワードを入力してログインします。

TIDAL の利用には、あらかじめサブスクリプションの契約が必要です。

TIDAL は 2023 年 7 月現在、日本でサービスを開始していないため、日本国内から新規に契約することができません。TIDAL の最新情報は、ホームページ (<https://tidal.com/>) をご確認ください。

設定方法

Qobuz 設定

音楽ストリーミングサービス「Qobuz」を再生するとき、ユーザー名とパスワードを入力してログインします。

Qobuz の利用には、あらかじめサブスクリプションの契約が必要です。

Qobuz は 2023 年中に日本国内向けのサービス開始予定がアナウンスされています。Qobuz の最新情報は、ホームページ (<https://www.qobuz.com/>) をご確認ください。

Spotify 設定

音楽ストリーミングサービス「Spotify」の、Spotify Connect 機能のオン / オフを設定します。

Spotify の利用には、あらかじめサブスクリプションの契約が必要です。お使いのスマートフォン / タブレットにインストールした Spotify アプリで音楽を再生するとき、音声の出力先デバイスとして、本機を選択することができます。

1. Spotify アプリの再生画面下部のスピーカーアイコンをタップすると、同一ネットワーク上の Spotify Connect 対応デバイスがリストアップされます。
2. リストの中から本機 (LUXMAN NT-07) を選択すると、アプリで再生中の音楽が、本機を接続したシステムで再生されます。
このとき、音楽データは Spotify のサーバーと本機が直接接続されますので、スマートフォン / タブレットの Spotify アプリを終了しても、プレイリストの再生は継続されます。

最新ファームウェア確認

「はい」：最新のファームウェアが存在するとき、ファームウェアをダウンロードして本機のアップデートをするかどうかのポップアップを表示します。

「いいえ」：最新のファームウェアを検索しません。

フロントパネルディスプレイの輝度調整

リモコンのディマー・ボタン (DIMMER) と同じ動作です。本体正面ディスプレイの明るさを、お好みの輝度に設定します。

フロントパネルモード

本体正面ディスプレイに表示される、丸い枠内の情報の種類を選択します。

「プレイ時間」：再生経過時間を表示します。

「音量」：本機のボリューム調節モードをオンにした場合の音量を表示します。

※音量調節モードがオフの場合、音量表示は常に「100」 (%) となります。

画面オフ

本体正面ディスプレイの自動消灯条件を設定します。

「オフ」：常にディスプレイを表示します。

「15分」：音楽を再生していないときは 15 分後に消灯します。

「1時間」：音楽を再生していないときは 1 時間後に消灯します。

ネットワーク LED

「オフ」：本体後面のネットワーク端子 (NETWORK) の動作 LED を消灯します。

「オン」：点灯します。

ボリューム調節

「オフ」：本機内蔵のデジタルボリューム機能を無効にします。

「オン」：デジタルボリューム機能が有効となり、音量が「30」 (%) に設定されます。

このとき、アプリで音量を調節するためのボリューム・リングが有効となります。

音量操作についての詳細は、専用アプリ「LUXMAN Stream」操作マニュアルをご覧ください。

再度、「オフ」にすると、デジタルボリューム機能が無効となり、音量が「100」 (%) となるため、大音量注意のポップアップが表示されます。

接続するオーディオシステムで音量調節が可能な場合は、本機能は「オフ」にご使用ください。

デジタル出力

接続する D/A コンバーター機器に合わせて、本機の出力端子を選択します。

「USB」：本体後面の USB (DAC) 端子からデジタル音声を出力します。

「SPDIF」：本体後面の同軸 (COAX) と光 (OPT) 端子からデジタル音声を出力します。

選択する出力端子によって、再生可能なサンプリング周波数の上限が異なります。

各端子の対応するサンプリング周波数は、P6 の「各部の名称と用途」をご覧ください。

MQA モード

MQA フォーマットの音源の再生方法を設定します。

「オフ」：MQA 音源を、通常の PCM 音源としてデジタル出力します。

「コアデコード」：MQA 音源の前段処理(コアデコード)のみ行い、デジタル出力します。

※ MQA 音源を完全にデコード (フルデコード) するには、本機のデジタル出力を、MQA レンダラー機能を搭載した D/A コンバーター機器に接続する必要があります。

「パススルー」：MQA 音源を、何も処理せずにデジタル出力します。

※本機のデジタル出力を、MQA フルデコード機能を搭載した D/A コンバーター機器に接続する場合は、このモードを選んでください。

Air Streaming

Apple 社 AirPlay と互換性のあるレシーバー機能を設定します。

「オフ」：本機能を無効にします。

「オン」：本機を AirPlay 互換デバイスとして動作させます。

Roon Ready

総合音楽再生ソフト Roon の出力機器として本機を動作させます。

「オフ」：本機能を無効にします。

「オン」：本機能を有効にし、Roon の出力デバイスとして本機を選択することが可能となります。

本機は 2023 年 7 月現在、Roon Ready 対応機器としての認証作業中です。認証作業が完了し次第、本機能は有効となります。

設定方法

リサンプリング							
オフ				カスタム			
DSD 256							
DSD 256	DSD 128	DSD 64	352.8kHz	176.4kHz	88.2kHz	44.1kHz	
DSD 128							
DSD 256	DSD 128	DSD 64	352.8kHz	176.4kHz	88.2kHz	44.1kHz	
DSD 64							
DSD 256	DSD 128	DSD 64	352.8kHz	176.4kHz	88.2kHz	44.1kHz	
384kHz PCM							
DSD 256	DSD 128	DSD 64	ネイティブ	192kHz	96kHz	48kHz	
352.8kHz PCM							
DSD 256	DSD 128	DSD 64	ネイティブ	176.4kHz	88.2kHz	44.1kHz	
192kHz PCM							
DSD 256	DSD 128	DSD 64	384kHz	ネイティブ	96kHz	48kHz	
176.4kHz PCM							
DSD 256	DSD 128	DSD 64	352.8kHz	ネイティブ	88.2kHz	44.1kHz	
96kHz PCM							
DSD 256	DSD 128	DSD 64	384kHz	192kHz	ネイティブ	48kHz	
88.2kHz PCM							
DSD 256	DSD 128	DSD 64	352.8kHz	176.4kHz	ネイティブ	44.1kHz	
48kHz PCM							
DSD 256	DSD 128	DSD 64	384kHz	192kHz	96kHz	ネイティブ	
44.1kHz PCM							
DSD 256	DSD 128	DSD 64	352.8kHz	176.4kHz	88.2kHz	ネイティブ	
PCM出力ビット深度							
ネイティブ		16 Bit		24 Bit			

リサンプリング

再生フォーマットごとに、サンプリング周波数のアップコンバート / ダウンコンバートを設定します。

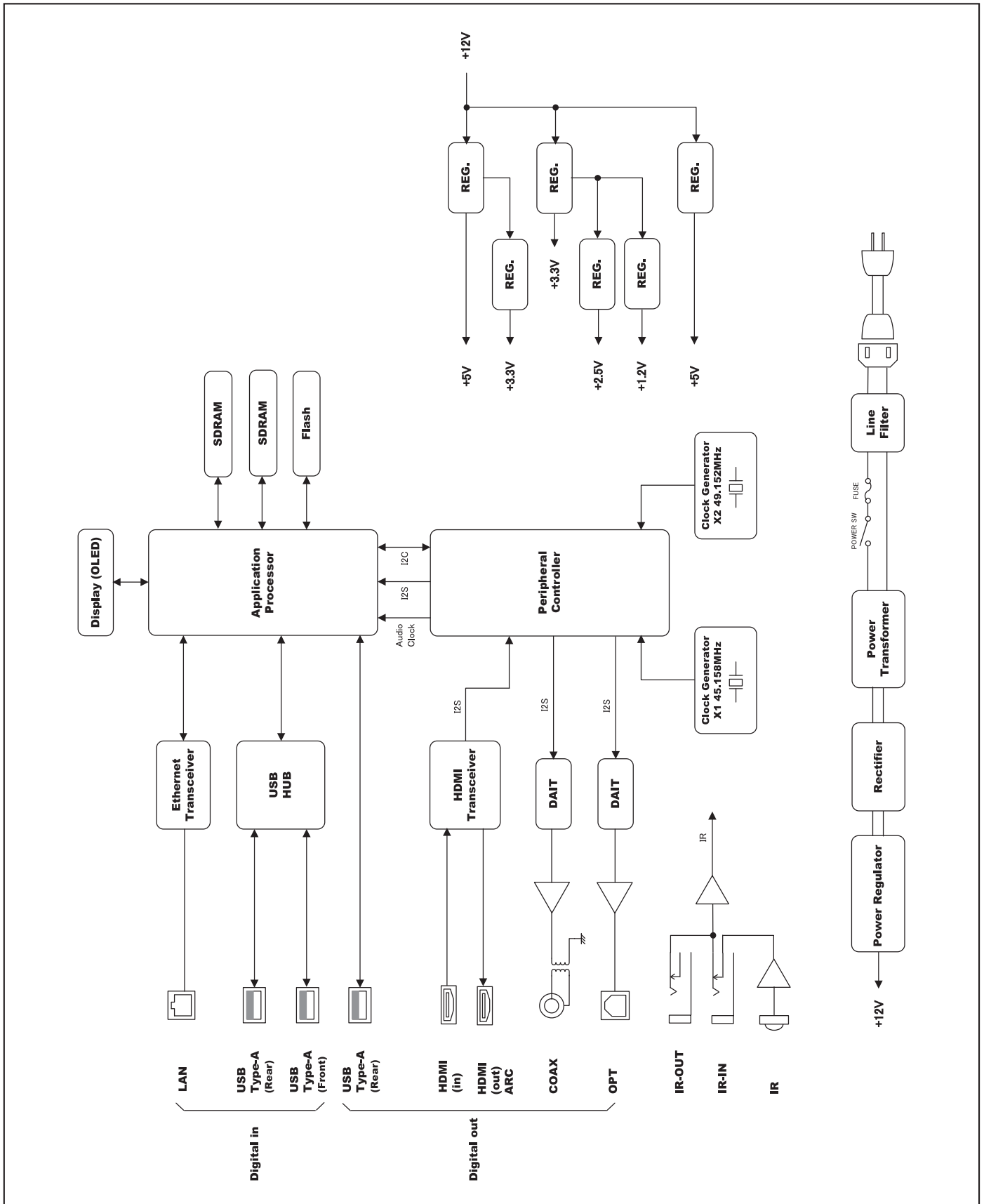
「オフ」 : リサンプリング機能を無効にします。

「カスタム」 : 再生フォーマットごとに、サンプリング周波数は最大 8 倍（または 1/8 倍）、PCM の出力ビット深度は 16 bit か、24 bit を選べます。また、PCM 音源の場合は、DSD への変換、DSD 音源は PCM への変換も可能です。

本機能は、以下の用途などで使用すると便利です。

- ・音楽ストリーミングサービスの CD 品質音源を、お持ちの D/A コンバーターの性能に合わせて、最大限アップコンバートして再生したい。(例：48kHz → 384kHz)
- ・CD をリッピングして NAS 等に保存しているファイル音源を DSD 変換して再生したい。(例：44.1 kHz → DSD256 (11.2MHz/1 bit))
- ・お持ちの D/A コンバーターの対応するサンプリング周波数が高くないとき (例：最大 96kHz 対応、または DSD 非対応など)、その機器の性能に合わせて、あらかじめ、フォーマットごとのリサンプリング設定で機器の上限を超えないようにプリセットする。(例：PCM 音源は、すべて 96kHz、または 88.2kHz にダウンコンバート、DSD 音源はすべて 88.2kHz にダウンコンバート)

MQA フォーマットの音源では、MQA モードの設定をオフにしたときのみ、リサンプリングの設定が有効となります。



規格

形式		2チャンネル・ネットワークトランスポート
デジタル入力	ネットワーク	1000 Base-T (ギガビット・イーサネット)
	HDMI	PCM 2チャンネル、4K映像パススルー
	USB	USB 2.0 準拠
デジタル出力	COAX	0.5Vp-p/75 Ω
	OPT	-15 ~ -21dBm
	HDMI	PCM 2チャンネル、4K映像パススルー、ARC (Audio Return Channel) サポート
ストレージ接続	USB × 2 端子	USB 2.0 準拠、 シングルパーティション、FAT32、exFAT、NTFS 対応
サンプリング周波数	USB	PCM : 44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、 192kHz、352.8kHz、384kHz、705.6kHz、768kHz (16bit、24bit、32bit) DSD : 2.8MHz、5.6MHz、11.2MHz、22.5MHz (1bit)
	OPT、COAX HDMI OUT (ARC)	PCM : 44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、 192kHz (16bit、24bit)
対応ファイルフォーマット		WAV、AIFF、FLAC、ALAC、MQA、MP3、AAC、 DSD (DSF、DFF)
ストリーミング・プロトコル		UPnP (OpenHome)、TIDAL Connect、Spotify Connect、 Roon Ready
専用アプリ	LUXMAN Stream	iOS (iPhone、iPad)、Android 対応
付属品		<ul style="list-style-type: none"> ・電源ケーブル JPA-10000i ・リモートコントローラー RC-30 ・単4電池 × 2 ・オーナーズマニュアル (本紙) ・保証登録書 ・安全上のご注意 ※付属の電源ケーブルは本機専用です。他の機器には使用 しないでください。
消費電力		24W (電気用品安全法による規定、 HDMI 入出力 / USB ストレージ接続時) 5.9W (スタンバイモード、 HDMI 入出力 / USB ストレージ非接続時)
電源電圧		AC100V (50/60Hz)
最大外形寸法		440 (W) × 92 (H) × 398 (D) mm (奥行きは前面窓 3mm、背面端子 13mm を含む)
質量		10.3kg (本体)
許容動作温度 / 湿度		+5℃ ~ +35℃ / 5% ~ 85% (結露のないこと)

※規格および外観は予告なく変更することがあります。

ご使用中に、何らかの原因で故障と間違えることがあります。修理に出される前に下記の表、および併用機器の取扱説明書をご覧のうえ、ひと通り確認してください。故障の原因がわからない場合は、お買い上げの販売店、もしくは弊社サービスセンターへお問い合わせください。なお、修理の依頼をお受けした場合は、故障でなくとも点検代、出張費などをいただくことがあります。

症 状	原 因 / 対 策	参照ページ
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源ケーブルを AC インレット、およびコンセントに正しく接続してください。 	12
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 入出力ケーブルを正しく接続してください。 	11
	<ul style="list-style-type: none"> 本機のデジタル出力設定で、SPDIF を選択しているときは USB (DAC) 端子から音声は出力されません。USB を選択しているときは SPDIF (光 (OPT)、同軸 (COAX)) 端子から音声は出力されません。音声を出力したい端子を専用アプリ「LUXMAN Stream」で選択してください。 	17
	<ul style="list-style-type: none"> 再生しているデジタル信号が、本機の対応しているサンプリング周波数や量子化ビット数、音声フォーマットであるか確認してください。本機は PCM 32bit Float データには対応していません。 	7～8
音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> 再生しているデジタル信号が、接続している D/A コンバーターに対応しているか確認してください。 	7～8
	<ul style="list-style-type: none"> 家庭のネットワーク内で、他に多くのデータ伝送（動画鑑賞など）が行われていないか確認してください。 	5
リモコン操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> インターネット経由でのストリーミング再生の場合、再生するための十分な伝送速度が確保できているか確認してください。 	5
	<ul style="list-style-type: none"> リモコンの使用範囲で操作してください。 	4
工場出荷状態に戻す。	<ul style="list-style-type: none"> リモコンの電池を新品と交換してください。 	3
	<ul style="list-style-type: none"> リモコン受光部に強い光が当たらないように、本機の置き場所や方向を変えてください。 	4
工場出荷状態に戻す。	<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決しない場合は、後面のリセットスイッチ (RESET) で工場出荷状態に戻してから、もう一度症状を確認してください。リセットするときは、電源がオフの状態から、ボールペンの先などでリセットスイッチ (RESET) を軽く押し続けながら、前面のオペレーション・スイッチ (OPERATION) を押して、ディスプレイに「Luxman」のロゴが表示されたら離してください。 	8

上記以外の症状や使用上の疑問点などがありましたら、下記の URL からよくある質問ページをご覧ください。

<https://www.luxman.co.jp/product/nt-07/help/>

アフターサービスと品質保証について

ラックスマンのオーディオ製品には、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで、数多くの厳しいチェックを施し、万全の品質管理を期していますが、万一本機が故障したときは弊社サービス・センターまたはご購入店までご連絡ください。状況に応じた修理をさせていただきます。

本機の保証期間はご購入日より起算して標準2年間、または、プレミアム延長保証適用の場合、7年間です。標準2年間の保証書およびプレミアム延長保証登録申請書は本機のパッキングケース内に入っています。

プレミアム延長保証適用条件

弊社正規取扱店での購入証明（領収書やレシートの複写）を貼り付けたプレミアム延長保証登録申請書を弊社宛てにご返送ください。
※正規取扱店につきましては、弊社ホームページをご覧くださいか、弊社営業部までお問い合わせください。

- プレミアム延長保証制度では、製品に同梱される保証書による標準2年間の保証に加え、下記に分類する製品の種類により、保証期間を延長いたします。保証期間につきましては、後日お届けいたします「クラブ・ラックスマン」カードに記載されます。「クラブ・ラックスマン」カードはプレミアム延長保証適用の保証書となります。
- 製品別プレミアム延長保証期間
プラス5年（計7年間保証）：トランジスターアンプ、D/Aコンバーター、ネットワークプレーヤー
プラス1年（計3年間保証）：真空管アンプ、CD/SACDプレーヤー、アナログプレーヤー
（現保証期間が5年間の製品は7年間、真空管等の消耗品は1年間となります。）
- プレミアム延長保証が適用とならない場合は、標準の2年間保証となり、修理の際は、製品に同梱される保証書と購入証明が必要となりますので、大切に保管してください。プレミアム延長保証が適用とならない場合は以下のとおりです。
 - ・ご購入店が弊社正規取扱店でない場合
 - ・「プレミアム延長保証登録申請書」のご送付が無い場合
 - ・弊社正規取扱店の購入証明が無い場合
 - ・購入証明の日付が弊社出荷日と著しく異なる場合（プレミアム延長保証登録をせず転売された場合等）

保証規約

製品は厳密な品質管理及び検査を経て出荷されておりますが、万一の自然故障の際には、ご購入店もしくは弊社サービスセンターまでお問い合わせください。保証の条件は以下記載のとおりです。

- 万一の自然故障につきましてはご購入日より保証書または「クラブ・ラックスマン」カード表面記載の保証期間無償修理いたします。（ただし真空管等の消耗品は1年間）
- 保証書およびご購入日を証明する領収書等または「クラブ・ラックスマン」カードのご提示がない場合、また保証期間外の修理の場合は有償にて承ります。
- 保証期間内であっても次の様な場合は保証対象外となり、修理は有償にて承ります。
 - ・保証書およびご購入日を証明する領収書等または「クラブ・ラックスマン」カードのご提示がない場合
 - ・使用上の誤り、改造、業務目的または海外でのご使用による故障、損傷
 - ・本製品以外（電源等）の原因による故障
 - ・火災、地震、水害、落雷およびその他の天変地変等による故障または損傷
 - ・オーバーホールおよび動作チェック等の点検作業
- 修理料金につきましては、予告なく変更することがあります。
- 本保証書および保証制度は日本国内のみ有効であり、海外でのご使用時には適用されませんので、ご注意ください。
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書および「クラブ・ラックスマン」カードの紛失、盗難等による再発行は、原則としていたしませんので、大切に保管してください。また、保証書およびカードの不正な使用、改造の場合、保証効力が失効する場合がありますのでご注意ください。
- 修理品につきましては、ご購入店にご相談いただくか、直接弊社宛てにご送付ください。製品の梱包箱等はできるだけ保管いただきますようお願いいたします。
- プレミアム延長保証期間中の修理品輸送費につきましてはお客様負担となります。
- 修理品をご送付いただく場合は、輸送中の破損等の事故が無いようにご注意ください。弊社では輸送中の事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 修理のご依頼、お問い合わせにつきましては、別紙のサービス情報をご覧ください。

